

## XII. 学 籍

休学・退学しようとする者は、アドバイザー等に相談の上、学務課窓口で所定の願い出用紙を受け取り、必要事項を記入し保証人連署の上、学務課へ提出してください。手続等については、学務課に問い合わせてください。

### 1. 修業年限

(学則 第11条の2)

本学において学業を修めるために必要と定められた期限（修業年限）は、4年です。2年次に編入学・学士入学した者の修業年限は3年、3年次に編入学・学士入学した者の修業年限は2年です。

### 2. 在学年限

(学則 第11条の2)

卒業に必要な単位を修得するために在学することのできる年数（在学年限）は、1年次入学者は最長8年間です。2年次に編入学・学士入学した者は6年間、3年次に編入学・学士入学した者は4年間です。ただし、休学期間は在学年数に算入しません。

### 3. 進 級

(履修規程 第5章)

次の(1)、(2)の進級条件を満たす場合に、学年初め(4月)に進級します。進級の条件を満たさない場合は、進級せず、もとの学年に留められます。

#### (1) 進級の条件

次の学年に進級するには、同一学年を前期から後期の順で2学期間在学し、前期および後期にそれぞれ1単位以上の履修科目の登録がなければなりません。

#### (2) 4年次への進級条件

4年次に進級するためには、(1)の条件の他、前年度末までに、次の授業科目の単位を含む86単位(卒業に必要な単位に数えられないものを除く)以上を修得していなければなりません。

人文学科	哲学専攻	自専攻科目のうち次の5科目計10単位 哲学入門Ⅰ、哲学入門Ⅱ、哲学基礎演習、 2年次演習(哲学)Ⅰ、2年次演習(哲学)Ⅱ
	日本文学専攻	自専攻科目のうち次のいずれか1科目2単位 3年次演習(現代日本語)Ⅱ、3年次演習(日本語史)Ⅱ、 3年次演習(日本古代文学)Ⅱ、3年次演習(日本中世文学)Ⅱ、 3年次演習(日本近世文学)Ⅱ、3年次演習(日本近現代文学)Ⅱ、 3年次演習(日本近現代文学)Ⅱ、3年次演習(中国文学)Ⅱ
	英語文学文化専攻	自専攻科目のうち次の2科目計4単位 Junior Composition Ⅱ、3年次特殊演習(英語文学文化)Ⅱ
	史学専攻	自専攻科目のうち次の1科目2単位 3年次特殊演習(史学)
国際社会科学	国際関係専攻	自専攻科目のうち次の4科目計8単位 基礎演習(国際関係)、2年次演習(国際関係)Ⅰ、 2年次演習(国際関係)Ⅱ、3年次演習(国際関係)Ⅱ
	経済学専攻	自専攻科目のうち次のいずれか1科目2単位 「3年次演習(経済学)Ⅰ」又は「3年次演習(経済学)Ⅱ」
	社会学専攻	自専攻科目のうち次のいずれか1科目2単位 「3年次演習(社会学)Ⅰ」又は「3年次演習(社会学)Ⅱ」

人間科学科	心理学専攻	自専攻科目のうち次の4科目計8単位 心理学研究法1、一般実験演習IA、一般実験演習IB、特殊実験演習1
	コミュニケーション専攻	次の①②の2科目計4単位 ① 情報処理科目のうち「情報処理技法(リテラシ)I」の1科目2単位 ② 自専攻科目のうち「3年次演習(コミュニケーション)I」又は「3年次演習(コミュニケーション)II」のいずれか1科目2単位
	言語科学専攻	自専攻科目のうち次の①②の3科目計4単位 ① 「Writing Skills 1A」及び「Writing Skills 1B」の2科目計2単位 ② 「3年次演習(言語科学)I」又は「3年次演習(言語科学)II」のいずれか1科目2単位
数理科学科	数学専攻	次の①②の9科目計14単位 ① 自学科科目のうち次の8科目計12単位 微分積分学I、微分積分学II、微分積分学演習I、微分積分学演習II、線形代数学I、線形代数学II、線形代数学演習I、線形代数学演習II ② 自専攻科目のうち「1年次演習(数学)」の1科目2単位
	情報理学専攻	次の①②の9科目計14単位 ① 自学科科目のうち次の8科目計12単位 微分積分学I、微分積分学II、微分積分学演習I、微分積分学演習II、線形代数学I、線形代数学II、線形代数学演習I、線形代数学演習II ② 自専攻科目のうち「1年次演習(情報理学)」の1科目2単位

進級を許されない場合

以下の場合、進級を許されず、もとの学年に留められます。

- 進級の条件(前ページ(1)、(2))を満たすことができない場合
- 休学により、進級の条件を満たすことができない場合
- 履修規程第32条に基づき、やむをえない事由によりその学期のすべての授業科目の登録を取り消し、進級の条件を満たすことができない場合

○休学した場合の進級

例えば、後期から翌年度前期に続けて休学し、翌年度後期に復学した者は、同一年度に限らず、同一学年の前期から後期の順で在学し、前ページ(1)、(2)の進級条件を満たした場合は進級します。

\*同一学年を後期から前期の順で2学期間在学しても進級できません。

(例)

2年次(1年目)		2年次(2年目)	
<b>前期</b>	後期	前期	<b>後期</b>
<b>在学</b>	休学	休学	<b>在学</b>

同一年度ではないが、同一学年の(前期→後期)の2学期間の在学の条件が満たされるので3年次に進級可能

## 4. 休 学

学則 第 27 条  
休学、復学、退学、  
再入学に関する  
規程  
第 4 条～第 8 条

病気その他やむをえない事由で修学できないときは、学期または学年を単位として休学を願い出ることができます。休学をしようとする場合は、手続についてあらかじめ学務課に相談してください。

- 休学期間は、在学年数に算入されません。
- 休学により進級の条件を満たすことができない場合は、進級を許されず、もとの学年に留められます。
- 休学した場合の進級については、「進級」の項を参照してください。
- 履修登録後に休学が認められた場合は、履修登録したすべての授業科目（履修期間が終了している授業科目は除く）の登録が取消されます。  
この場合、取消した授業科目の単位は、G P A算出の対象とはなりません。  
(履修規程 第 31 条、第 45 条参照)

### 休学期間

- 休学期間は、1 学期または 1 学年（1 年間）とし、年度を超えて願い出ることではできません。ただし、事由のある場合は、改めて休学手続を行うことにより、休学の延長を願い出ることができます。
- 休学できる期間は、通算 2 年までです。

### 休学手続

休学を願い出る者は、願い出期限までに、所定用紙に休学の事由および期間を記し保証人が連署した休学願を提出して、学長の許可を得なければなりません。

- 休学の事由が病気または負傷の場合には、医師の診断書を添えて願い出なければなりません。
- 願い出にあたっては、アドバイザーの承認が必要です。
- 所定用紙は保証人とアドバイザーの承認を受けた後に学務課で受け取ってください。

### 願い出期限

休学願は、願い出る休学の開始日以前の次の期日までに提出しなければなりません。学期途中からの休学はできません。

- (1) 1 学年又は前期のみの休学願 前年度末日（3 月 31 日）まで
- (2) 後期のみの休学願 当年度前期末日まで

特別の事情がある場合には、次の期限内に限って、休学願にその事情を記した文書を添えて、休学を遡って願い出ることができます。手続の詳細は、学務課に確認してください。

- (1) 1 学年又は前期のみの休学願 当年度 4 月 28 日まで
- (2) 後期のみの休学願 当年度前期末日から 1 か月以内

〔 上記の期日が、土曜日、日曜日または国民の祝日に当る場合は、  
その前日が提出期限となります。 〕

### 休学者の学費

学則 第 33 条  
学費その他納入  
規程 第 9 条

休学を許可された者は、休学中の学期始めに、所定の在籍料を納入しなければなりません。ただし、入学年度は、在籍料と入学年度教育充実費の残額を後期に納入しなければなりません。

## 休学の取消

休学を認められた学期の開始直後に、休学の事由が解消した場合は、休学の取消しが認められることがありますので、直ちに学務課に申し出てください。

### 注 意

許可された休学期間を過ぎてなお、復学も退学も休学期間延長の願い出もしない者は、学則第 31 条第 2 号に基づいて除籍となりますので注意してください。

## 5. 復 学

学則 第 27 条  
休学、復学、退学、  
再入学に関する  
規程  
第9条～第 11 条

復学を願い出る休学者は、許可された休学期間の末日までに、所定用紙に休学した事由が解消した旨を記し保証人が連署した復学願を提出して、学長の許可を得なければなりません。

- 復学は、休学した事由が解消していなければ許可されません。
- 休学の事由が病気または負傷であった場合には、復学願に医師の診断書を添えて願い出なければなりません。
- 復学の期日は、学年または後期の開始日とします。学期途中での復学はできません。
- 1 学年（1 年間）の休学を許可された者が、後期開始日以前に休学の事由が解消するときは、前期末日までに復学願を提出する場合に限り、後期開始日の復学を願い出ることが可能です。ただし、学期途中での復学はできません。

前期休学者が  
後期に復学する  
場合の履修登録

後期開始日に復学した者は、後期の履修登録訂正期間に履修登録を行ってください。後期の履修登録は、後期のみの授業科目に限りです。  
なお、履修登録単位数の上限について学期ごとの定めはありませんが、年間登録単位数の上限が 44 単位であることを参考に、教室内外の学習時間を十分考慮の上、登録してください。

## 6. 退 学

学則第 28 条  
休学、復学、退学、  
再入学に関する  
規程  
第 12 条～第 16 条

退学をしようとする者は、所定の手続により退学を願い出て許可を得なければなりません。手続については、あらかじめ学務課に相談してください。

退学日は、原則として年度末日（3 月 31 日）または前期末日とします。  
なお、入学初年度に限り、4 月 28 日までの日付を退学日として願い出ることができます。

退学手続

退学を願い出る者は、願出期限までに、所定用紙にその事由を記し保証人が連署した退学願を、身分証明書を添えて提出し、学長の許可を得なければなりません。

- 願い出にあたっては、アドバイザーの承認が必要です。
- 授業料および教育充実費（学費）、または在籍料を滞納している者は、退学日が属する学期までの滞納額を納めた後でなければ退学を願い出ることはいけませんので注意してください。
- 所定用紙は保証人とアドバイザーの承認を受けた後に学務課で受け取ってください。

## 願い出期限

退学願は、**願い出る退学日以前**に提出しなければなりません。

特別の事情がある場合には、次の期限内に限って、退学願にその事情を記した文書を添えて、退学日を遡って願い出ることができます。手続の詳細は、学務課に確認してください。

- (1) 前年度末日(3月31日)に遡っての退学願 4月28日まで
- (2) 当年度前期末日に遡っての退学願 前期末日から1か月以内

〔 上記の期日が、土曜日、日曜日または国民の祝日に当る場合は、その前日が提出期限となります。 〕

## 7. 再入学

学則第29条  
休学、復学、退学、  
再入学に関する  
規程  
第17条～第23条

願い出て退学(学則第28条による退学)した者が再入学を希望するときは、所定の期限内に限り、所定の手続により、その翌年度における再入学を願い出ることができます。ただし、この願い出は、1度限りとします。

再入学は、選考試験を実施の上、教授会の議を経て、許可することがあります。制度・手続の詳細は、学務課に確認してください。

- 再入学を願い出ることができる学科および専攻は、退学前の所属学科および専攻と同一のものに限ります(変更は認められません)。
- 再入学を願い出の際は、入学検定料の納入が必要です。
- 再入学に際しては、入学金を含む所定の納入金の納入が必要です。

## 8. 除籍

学則第31条  
休学、復学、退学、  
再入学に関する  
規程  
第7条、第15条

次のいずれかに該当する者は除籍されます。

- (1) 学業成績不良で成業の見込がないと認めた者
- (2) 正当の理由がなくて3か月以上修学しない者  
〔 許可された休学期間を過ぎてなお、復学も退学も休学の延長の願い出もしない者を含む 〕
- (3) 在学年数が8年を超える者(休学期間は含まない)
- (4) 所定の学費または在籍料の未納が1学期に及び、督促しても納入しない者

(1)、(2)、(3)に該当する場合は、除籍決定日を除籍日とします。

(4)に該当する場合は、学費または在籍料を完納した最終学期の末日を除籍日とします。

## 9. 転学科・転専攻

(履修規程 第6章)

特に事情のある場合は、学科の変更（以下「転学科」という。）又は所属学科内における専攻の変更（以下「転専攻」という。）を願い出ることにより、選考の結果、教授会の議を経て許可されることがあります。学科、専攻の変更は、学年初めに限ります。

- 転学科・転専攻は、将来に大きな関わりを持つものですので、あらかじめ保証人、アドバイザー、専攻主任及び学科主任等とよく相談の上、慎重に考慮して願い出てください。
- 書類を整えるのに時間がかかりますので、転学科・転専攻を考えている者は、早めに学務課に申し出てください。

願 い 出 期 限	2023年11月9日（木） 16時 <b>厳守</b> （2023年11月1日（水）より受付開始） * 期限を過ぎたものは受理しません。
-----------	--

詳細は学務課へ問い合わせてください。

### **注 意**

試験に合格しても、転学科・転専攻を願い出た年の年度末での修得単位が次の単位に満たない場合には、転学科・転専攻の許可は取消されます。

## 10. 留 学

学則 第27条の2  
外国留学に関する  
規程

### 出願資格

本学が「教育上有益」と認めたときに、休学することなく外国の大学に留学できる制度（「協定校留学」、「認定校留学」）があります。「協定校留学」は本学との間に協定を締結した大学に、「認定校留学」は学生の出願に基づき本学が認定した大学に在学し、正規課程の授業科目を履修するものです。

- 留学の期間は1年または半年で、**修業年限に算入**することができます。
- 留学期間中に留学先大学において履修した授業科目を**本学の卒業に必要な単位として認定**することができます。ただし、本学以外で修得した単位等の認定により与えられた他の単位と合わせて60単位を超えることはできません。（「V. 学外学修の単位認定」参照）  
（休学による外国での学修の場合は、単位の認定はありません。）

### 出願手続

●本学の判断により、学生の海外派遣を中止する場合があります。学生の海外派遣に関する基準については、東京女子大学のWebサイトに掲載しています。  
出発時において、本学に少なくとも1年以上在学し、1年につき30単位以上を修得した者でなければなりません。

留学を願ひ出る者は、所定の期日までに保証人が連署した「留学許可願」（所定用紙）に留学計画書（所定用紙）ほか、出願に必要な書類を添えて国際交流センターに提出しなければなりません。

留学は、国際交流センター運営委員会の選考・審査を経て、学長が許可します。

- 留学計画はアドバイザーと相談の上で立てる必要があります。
- 出願にあたっては、所属学科および専攻の推薦が必要です。

### 通年科目の 継続履修

後期から留学する者が、留学前に通年科目の前期の授業を受け、帰国後、継続履修を希望する場合、同一授業科目に限り、所定の手続を経て、継続履修が許可されることがあります。

- 継続履修を認める科目は、所属学科の科目で所属学科が認めたものおよび次の授業科目において所定の条件を満たした場合に限りです。  
総合教養科目「トータルプレゼンテーション演習」、教職課程科目「教育実習A」「教育実習C」、学芸員課程科目「博物館実習1」「博物館実習2」
- 人間科学科（言語科学専攻）の「日本語教育実習」の継続履修は認められません。

### 留学中の学費

留学中も、学期始めに本学学費（授業料および教育充実費）を納入する必要があります。なお、留学する学生を対象とした本学独自の授与奨学金制度を、出願により利用することができます（学費相互免除による協定に基づき留学する場合を除く）。

留学を希望する者は、「留学ハンドブック」（東京女子大学のWebサイトに掲載）をよく読み、前期始めおよび後期始めに国際交流センターが実施する留学説明会に必ず出席してください。留学についての詳細を説明します。

不明の点は、以下の部署で確認してください。

留 学 全 般 ----- 国際交流センター  
単 位 認 定  
留学前後の本学での履修  
(通年科目の継続履修を含む) } 学務課

## XIII. アドバイザー

～実りある大学生活のために～

東京女子大学では、「学生一人ひとりを大切にし、一人ひとりの力を伸ばす教育」を行うことを目的として、専任教員による「アドバイザー制度」を実施しています。  
専任の教員がアドバイザーとして学生の皆さん一人ひとりを担当し、学習と進路について助言や指導を行い、皆さんの大学生活が有意義で充実したものとなるよう支援します。  
アドバイザー制度の詳細および、アドバイザーの具体的な役割は以下の通りです。

### 1. アドバイザーの決定

専攻ガイダンス時に、アドバイザー名が通知されます。

### 2. アドバイザーへの相談内容

以下のような学習と進路について相談することができます。  
なお、アドバイザーは必要に応じて他の教員や関係他部署と連携を取り、最善の支援ができるようにします。

#### (1) 学習に関すること

履修登録科目に関する相談  
学習の進め方等に関する相談  
学科・専攻の専門に関する相談  
副専攻の選択に関する相談  
留学に関する相談

#### (2) 進路に関すること

転学科・転専攻等の進路変更に関する相談  
休学・退学等に関する相談  
卒業後の進路に関する相談

#### (3) 推薦状の作成

奨学金申請、留学、就職、大学院進学等のための推薦状は、それぞれの事務担当窓口を通して申し込み、原則としてアドバイザーや専攻主任が作成することになります。

### 3. アドバイザーとの面談

アドバイザーとの面談は、基本的にアドバイザーの研究室で行われます。各教員の研究室の場所は、Web システムに掲載する「オフィスアワー一覧」で確認してください。

#### (1) 履修登録時

学生は責任を持って履修科目の登録を行い、教室外での学習を含め履修登録単位に見合った学習を行うことが求められています。皆さん一人ひとりの力にあった学習の進め方等について、前年度(前学期)の成績を参考にアドバイザーが助言を与えます。

○前期はオリエンテーション期間中に設けられた専攻ガイダンスでアドバイザーと学生の会合のための場所と時間が指示されます。

アドバイザーからは履修登録科目等について助言を受けることができます(2年次以降は前年度の成績を必ず持参することになります)。

○後期は前学期の成績を必ず持参し、第1週のゼミまたはオフィスアワーに面談を受けます。履修登録科目の変更や学習の進め方等について助言を受けることができます。



(2)履修登録時以外  
での相談

アドバイザーは週1コマ以上のオフィスアワーを設けて、皆さんの相談を受けるために研究室に在室しています。日常的な相談が必要な場合には、オフィスアワーに相談することができます。

オフィスアワーは、毎年度始の専攻ガイダンスで周知されるほか、学生用Webシステムにも掲載されます。固定されたオフィスアワー以外にも、予約を取ってアドバイザーと面談することが可能です。年度始の面談において、連絡方法(Eメール等)をアドバイザーに確認してください。

なお、オフィスアワーであっても、緊急の用事で席を外すこともあり得ますので了解しておいてください。アドバイザーとのすれ違いを防ぐためにも、オフィスアワーも含め、可能な限りアドバイザーとの予約を取るよう心がけてください。

(3)成績不振、単位  
僅少時

前年度(前学期)の学習結果に基づき、修得単位数が一定の水準に達していない場合や、GPAを目安に成績が振わないと判断された場合は、アドバイザーが継続的に呼び出して、助言や指導を行います。アドバイザーの支援を真摯に受け止め、学業の充実がはかれるよう努めてください。成績不振の連続や単位僅少の場合は、保証人(父母等)にも連絡を取るようになります。

4. 学生とアドバイザー  
との関係について  
の留意点

(1)プライバシーの  
問題

アドバイザーとの相談の過程で、皆さんがプライバシーに関わる事項について話すかどうかは、皆さん自身の意思が尊重されます。話したくない場合には、遠慮なく断ることができます。

話した場合でも、当然の事ながら、アドバイザーには守秘義務が発生し、皆さんのプライバシーは守られます。

(2)アドバイザーに  
関する相談

アドバイザーの助言や指導の内容について、第三者に相談したい場合は、他の教員や学生生活課、学生相談室等に相談することもできます。

(3)不服の申し出

アドバイザーの助言や指導の内容について不服があるときには、所属専攻の専攻主任に申し出ることができます。専攻オフィスに申し出て、専攻主任に取り次いでもらうこともできます。

また、場合によっては、アドバイザー変更を行うこともあり得ます。

## XIV. その他授業に関する注意事項

### 1. 掲 示

学生への通知・連絡は、掲示・CampusSquare 等によって行います。  
登下校時には、必ず掲示を確認してください。

- \* 掲示・CampusSquare の内容は、関係ある学生全員に周知されたものとみなします。  
これらを見ることを怠ったことによる不利益は自己責任となります。  
十分に注意してください。
- \* 学務課への問い合わせはなるべく窓口で行ってください。ただし、やむを得ない事情がある場合は、速やかに電話・E-mail 等で問い合わせてください。

### 2. 授業に関する 質問について

授業に関して質問や疑問がある場合は、専任教員については教室または研究室で、非常勤講師については教室または本館 1 階ロビーで、助言や指導を受けることができます。なお、遠隔授業実施下においては、E-mail で問い合わせることができます。

### 3. 休講および補講

#### 休 講

各授業科目の担当者にやむを得ない事情が発生した場合、授業を休講とすることがあります。休講告知は、授業担当者から連絡を受けたものについて、2 号館 1 階の休講告知の掲示板及び CampusSquare の休講情報に情報を掲示することにより行います。

- 休講についての電話等による照会には一切応じません。
- 「学年暦」に記載されている休業・休講については改めて掲示しません。各自「学年暦」を確認してください。

ストライキおよび事故・災害等により交通機関が運行停止になった場合の授業措置

ストライキおよび事故・災害等により交通機関が運行停止になった場合にも、可能な限り授業を実施することを原則とします。ただし、JR 中央線快速、中央・総武各駅停車がいずれも全面運行停止となり、かつ、JR 山手線（内回り、外回りの両方）または京王井の頭線のいずれか 1 線が全面運行停止となった場合、次の措置をとります。

「JR 中央線快速、中央・総武各駅停車」、及び「JR 山手線（内回り、外回りの両方）または京王井の頭線のいずれか 1 線」の全面運行停止・解除時刻	授業の取扱い
午前 6 時までに解除・復旧の場合	平常通り授業を行います。
午前 6 時から午前 10 時までに解除・復旧の場合	午前中は休講、3 時限より授業を行います。
午前 10 時を過ぎても解除・復旧されない場合	全日休講とします。

なお、全面運行停止とは、中央線快速、中央・総武各駅停車においては西荻窪駅、吉祥寺駅を含む区間が運転を見合わせている状態を、京王井の頭線においては吉祥寺駅への運行を停止している状態を、山手線においては内回りも外回りも運行を停止している状態を指します。

暴風警報または大雪警報が発表された場合の授業措置

暴風警報または大雪警報が発表された場合に、休講措置をとる場合があります。休講措置の決定は、掲示、全館放送、Web サイト等で周知します。

●台風の接近や大雨、大雪の予想が出ている場合にも、可能な限り授業を実施することを原則とします。

ただし「23区西部（杉並区）と多摩北部（武蔵野市）の両方」に暴風警報（暴風雪警報も含む）または大雪警報が発表されている場合、以下の通り休講措置を取ります。

「23区西部（杉並区）と多摩北部（武蔵野市）の両方」に暴風警報（暴風雪警報も含む）または大雪警報が発表されている場合	授業の取扱い
午前6時の段階で警報が発表されている場合	午前中の授業を休講とします。
午前10時の段階で警報が発表されている場合	全日休講とします。

●暴風警報の確認方法

1. 気象庁ホームページの「気象警報・注意報：東京」

[http://www.jma.go.jp/jp/warn/319\\_table.html](http://www.jma.go.jp/jp/warn/319_table.html) にアクセスする。

（気象庁ホームページ＞防災情報＞気象警報・注意報＞地図上で東京都を選択）

2. 「警報」（ピンク色）の「暴風」または「暴風雨」、「大雪」の欄の「23区西部（杉並区）と多摩北部（武蔵野市）の両方」に警報が発表（ピンク色の欄に●）されているかどうか確認する。

補 講

休講となった科目および予定の範囲まで終了しなかった科目について、下記の期間に補講を行うことがあります。補講を行う場合には、掲示により通知します。

前期補講日	2023年7月17日(月)1・2時限、25日(火)
後期補講日	2024年1月16日(火)、17日(水)、18日(木)

通常の授業時間とは異なる曜日・時限・教室で、補講を行うことがありますので注意してください。

\* 補講日には、他の用事等を入れないようにしてください。

\* 上記の補講日以外に、臨時に補講を行う場合があります。

4. 授業の欠席

やむを得ず授業を欠席する場合は、授業担当者への報告が必要です。以下の(3)(4)(5)(6)の授業欠席については、所定の手続きを行った者に限り、授業欠席について不利な扱いとしないよう、授業担当者に配慮をお願いしています。

(1) 病気、けが、  
忌引で授業を  
欠席する場合

病気、けが、忌引で授業を欠席する場合は、原則として次回の授業時までに、直接授業担当者に、欠席理由を報告してください。ただし、この場合の授業欠席に関する扱いは、授業担当者の判断によります。

●欠席が長期にわたる場合は、早急に学務課に相談してください。

病気、けが等のやむをえない事由により授業に出席できない場合の履修登録の取消については、「Ⅱ-14.登録の訂正/Ⅱ-13.休学・やむをえない事由による履修登録の取消」の項を参照してください。

また、休学については、「XIII-4.休学」の項を参照してください。

●欠席が多い場合は、授業担当者により成績評価の前提条件を満たしていないと判断されたり、追試験、再試験の受験を許可されないことがあります。

(2) インターンシップ・  
就職活動で授業  
を欠席する場合

インターンシップや就職活動により欠席する場合は、病気、けが、忌引等で授業を欠席する場合と同様に、原則として次回授業時まで、直接授業担当者に欠席理由を報告することとしています。この場合の欠席に関する扱いは「授業担当者の判断による」ものとなります。

なお、キャリア・センターでも、採用面接等が授業と重なった場合は、先方に日程変更を申し出ること、またインターンシップについては、授業と重複しない日程で申し込むよう指導しています。

(3) インフルエンザ、  
麻疹等で授業を  
欠席する場合

インフルエンザ、麻疹等の「学校において予防すべき感染症」にかかり、授業を欠席する場合は、以下の通りとしてください。

「学校において予防すべき感染症」とは、学校保健安全法および同施行規則の規定による以下の感染症です。  
インフルエンザ、百日咳、麻疹(はしか)、風疹(三日はしか)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、水痘(水ぼうそう)、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎 新型コロナウイルス感染症他

① 感染拡大を防止するため、登校せず、速やかに医療機関で受診し、ただちに保健室(03-5382-6287)に連絡の上、医師に指示された期間、自宅で待機してください。

② 医療機関で「学校において予防すべき感染症」の「証明書」(本学書式による\*)または「診断書」の交付を受けてください。「出席停止期間および登校可能日」の明記と「医師の署名または捺印」が必要です。

\*本学書式による「証明書」用紙は、東京女子大学のWebサイトに掲載しています。(トップページ → 学生生活 → 学生生活サポート → 保健室 → 「学校において予防すべき感染症」の証明書)

③ 登校可能日以降(出席停止期間終了直後)、授業に出席した際に、「証明書」または「診断書」の写しを、直接授業担当者に提出してください。授業担当者には、登校可能日以降ただちに「証明書」または「診断書」を提出した者については、「学校において予防すべき感染症」にかかったことを理由とする授業欠席について、不利な扱いとしないよう配慮をお願いしています。

なお、「証明書」または「診断書」の本紙は、保健室に提出してください。

(4) 新型コロナウイルス感染症について

●新型コロナウイルス感染症は政令により「指定感染症」と定められ、治癒するまで出席停止となります。

●感染あるいはその疑い、濃厚接触者と特定された場合は登校せず、必ず保健室（03-5382-6287）に電話で連絡をしてください。

●本学での対応については、本学公式サイト トップページ「新型コロナウイルス感染症のお知らせ」にて最新の情報を掲載します。  
日々状況が変わるため、定期的に最新の情報をご確認ください。

① **新型コロナウイルス陽性者と特定された場合**

療養期間が終了するまで出席停止となります。

かかりつけ医または居住地を管轄する保健所の指示に従ってください。

療養期間終了後は、「療養証明書」等を保健室に提出してください。

② **濃厚接触者と特定された場合**

待機期間が終了するまで出席停止となります。

かかりつけ医または居住地を管轄する保健所の指示に従ってください。

③ **感染が疑われる場合**

かかりつけ医または居住地を管轄する保健所、都道府県が設置している発熱相談センター(地域により名称が異なることがあります)に電話して指示に従ってください。

(5) 教育実習、博物館実習 または 介護等体験により授業を欠席する場合

**教育実習、博物館実習または介護等体験により授業を欠席する場合は、原則として実習・体験の1週間前までに、「欠席届」(所定用紙)に学務課(教育実習担当・博物館実習担当)の確認印を受け、直接授業担当者に提出してください。**

授業担当者には、事前に「欠席届」を提出した者については、教育実習、博物館実習または介護等体験を理由とする授業欠席について、不利な扱いとしないよう配慮をお願いしています。

(6) 遠隔授業時に通信環境等の不具合により授業に参加できない場合

授業に参加できなくなった時点で授業担当者に報告してください。

(7) 新型コロナウイルスワクチン接種により授業への出席が困難な場合

授業担当者に所定の連絡をした者については、授業欠席について、不利な扱いとしないよう配慮をお願いしています。

5. 教室

前期及び通年授業の教室は、学年初めに配布する「授業時間割」に掲載します。後期授業の教室は、後期初めに掲示します。

教室の変更は、7号館南口付近(屋外)の学務課掲示板に掲載します。

各学期始めは、教室変更が頻繁に行われますので、毎日必ず掲示を確認してください。

6. 学務課窓口  
開室時間

月曜日から金曜日 9:00~17:00 (11:25~12:25は閉室)

なお、事務取扱時間を変更する場合は、掲示等でお知らせします。

問い合わせは、原則として本人が窓口で行ってください。ただし、やむを得ない理由により来校できない場合については、速やかに電話・E-mail 等で問い合わせてください。

授業に関する問合せ先（メールアドレス）：

学務課 [risyu@office.twcu.ac.jp](mailto:risyu@office.twcu.ac.jp)

# 「いくつもの知」履修モデル

東京女子大学にはいくつもの知があります。

ここにあげた 27 の履修モデルは、本学が開講している「全学共通カリキュラム」と「学科科目」の多様な科目の中から、教授たちが「このような授業を選んで学ぶと、まとまった「知」が修得できるのではないかと考え、アイデアを示したものです。自分の所属する専攻の科目に捉われずに東京女子大学にあふれている、たくさんの「知」を学び、高い教養を身につけてください。

## ○キャリアデザインとジェンダー

学生にとって無関心ではられないのが仕事とキャリアというテーマである。ここでは、社会科学的観点とジェンダー論的観点の交錯し合う領域について広く学び、包括的な知識を身につけることを目指す。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
キャリアデザインを描く	2	1・2・3・4	総合教養科目	
アメリカ研究(社会史) I	2	3・4	国際社会学科(国)	
アメリカ研究(社会史) II	2	3・4	国際社会学科(国)	
労働経済学	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
ジェンダーの経済学	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
労働法	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
労働社会学 I	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
労働社会学 II	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
経営社会学 A	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
経営社会学 B	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
家族社会学 I	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
家族社会学 II	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
情報と職業 A	2	2・3・4	人間科学科(コ)	

## ○物理学による自然の理解

物理学に興味があるが、数式にこだわらずに自然の理解を学び、その知識を現代社会に生きる上で生かそうとするためには総合教養科目を中心に履修するとよい。さらに、もう少し詳しく物理学の中心的な概念を身につけることに関心のある学生は学科科目を履修することを勧める。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
エネルギーと人類	2	1・2・3・4	総合教養科目	
宇宙の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
地球の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
物理学概論	2	1	数理科学科(情)	
力学 I	2	2	数理科学科(情)	
電磁気学	2	2	数理科学科(情)	
相対性理論	2	2・3	数理科学科(情)	隔年開講
数理解物理学	2	3・4	数理科学科(情)	隔年開講
量子力学	2	2・3	数理科学科(情)	隔年開講
現代物理学	2	3・4	数理科学科(情)	隔年開講

## ○化学の視点、化学する心

人間を含む生命体の機能や自然界の現象は、原子同士の化学結合による分子の働きで成り立っている。食品や医薬品は人体内の化学反応の作用で役目を果たし、生活用品は化学反応で造られる物質である。脳の活動、感情の現れ、病気の発現と治療には化学の原理が背景にある。環境問題の原因と対策にも化学現象が関わる。それらの根底をなす化学の基礎を理解し様々な事柄を考える視点は、文系、理系を問わず、今後ますます重要となる。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
自然科学のあゆみ	2	1・2・3・4	総合教養科目	
現代の科学と技術	2	1・2・3・4	総合教養科目	
暮らしの中の物質	2	1・2・3・4	総合教養科目	
地球環境の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
生命と医療の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
化学概論	2	1	数理科学科(情)	
物理化学 A	2	2	数理科学科(情)	
物理化学 B	2	2・3	数理科学科(情)	

## ○自然科学的にみる環境問題

20世紀、それまで無限と思われていた地球環境や生物資源に限りのあることが明白になった。そして21世紀、人口や資源消費量などの増大により、地域からグローバルまで様々な環境問題が深刻化している。この履修モデルでは、身の周りの自然環境とその現状を知ることからはじめ、様々な環境問題を自然科学(生物学とくに生態学、化学、物理学)的視点から、社会経済的な背景をふまえて理解し、自らの意見や行動を決める力を身につけることを目指す。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
現代の科学と技術	2	1・2・3・4	総合教養科目	
エネルギーと人類	2	1・2・3・4	総合教養科目	
地球の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
地球環境の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
自然環境と人間社会	2	1・2・3・4	総合教養科目	
人類の誕生と進化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
環境経済学	2	2・3・4	国際社会学科(経)	
環境科学	2	2・3	数理科学科(情)	隔年開講
基礎生態学	2	2	数理科学科(情)	
生物分類学	2	2・3	数理科学科(情)	隔年開講

## ○生活と科学

原子力発電、酸性雨、地球温暖化、遺伝子操作、再生医療、医薬品や化粧品などに代表される人工的物質など、現代社会において身近な生活環境で生じているさまざまな問題の背景や本質を自然科学を学ぶことを通して理解し、解決策について自らの考えを持つことを目指す。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
現代の科学と技術	2	1・2・3・4	総合教養科目	
暮らしの中の物質	2	1・2・3・4	総合教養科目	
エネルギーと人類	2	1・2・3・4	総合教養科目	
地球の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
自然環境と人間社会	2	1・2・3・4	総合教養科目	
生命と医療の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
遺伝の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	



## ○いのちの価値を考える

いのちとウェルビーイングをめぐる問題を、科学技術の面や哲学的議論、社会的問題など、さまざまな角度から学び、多様で総合的な視点を得ることを目指す。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
女性のウェルビーイング	2	1・2・3・4	総合教養科目	
生命と医療の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
科学技術と倫理	2	1・2・3・4	総合教養科目	
社会保障と社会福祉	2	1・2・3・4	総合教養科目	
性と生命(セクソロジー)	2	1・2・3・4	総合教養科目	
哲学特論(生命論)AI	2	2・3・4	人文学科(哲)	隔年開講
哲学特論(生命論)AII	2	2・3・4	人文学科(哲)	隔年開講
福祉社会学 A	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
福祉社会学 B	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
医療社会学 A	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
臨床心理学(不適応・逸脱行動)A	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
臨床心理学(不適応・逸脱行動)B	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
精神保健学A	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
精神保健学B	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講

## ○子どもの教育

これからの社会を担う子どもの教育にたずさわろうと考えている学生は、子ども、少子高齢化社会、障害者の問題等に関する知識の習得が必要である。教員を目指す学生はもちろん、将来子どもの教育にたずさわりたいと考えている学生が、必要な素養を身につけることを目指す。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
キャリアデザインを描く	2	1・2・3・4	総合教養科目	
こどものこころ	2	1・2・3・4	総合教養科目	
児童文学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
社会保障と社会福祉	2	1・2・3・4	総合教養科目	
教育心理学(学校教育)	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
教育心理学(障がい児教育)	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講

## ○子ども性(チャイルドネス)を見つめる

「子ども性(チャイルドネス)」は、「児童文学」を定義しようとする長年の試行錯誤を通して再発見され、「子ども」であることのある種の特質を論じるのに用いられるようになった新しい言葉である。「子ども性」を内包する文学が「児童文学」であり、「子ども向け」に出された作品がおとな読者も惹き付けるのは、あらゆる人間の中にこの特質があるためであるとも言える。「子ども性」に光をあてることは人間が人間であることの本質を見つめることになる。心理学も学びつつ、文学作品に現れた「子ども性」や、自らの中に眠る「子ども性」について考える。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
こどものこころ	2	1・2・3・4	総合教養科目	
児童文学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
英語文学(児童文学) I	2	3・4	人文学科(英)	
発達心理学(言語・認知発達)B	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
発達心理学(情動・社会発達)A	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
発達心理学(情動・社会発達)B	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
臨床心理学(コミュニティ・家族)A	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
文学とことば	2	2・3	人間科学科(言)	

## ○人間の認知能力を科学する

自然界の一部に生まれた「人間」という種、人間の脳に発達した言語能力、言語とは独立に発達しながら言語能力に深く関わる聴覚・視覚・運動能力、さらにこれらを統合する思考能力について、様々な科学のアプローチとその知見を学び、1個の人間である自分が「人間の認知能力」について考え抜くという体験を通して、各自の中で、知識に留まらず自分の生き方につながっていくような人間観を育む。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
自然科学のあゆみ	2	1・2・3・4	総合教養科目	
現代の科学と技術	2	1・2・3・4	総合教養科目	
人類の誕生と進化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
脳の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
遺伝の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
こころの科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
こどものこころ	2	1・2・3・4	総合教養科目	
こころの進化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
認知心理学(基礎過程)A	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
認知心理学(高次過程)A	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
認知心理学(高次過程)B	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
知覚心理学A	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
発達心理学(言語・認知発達)B	2	2・3・4	人間科学科(心)	隔年開講
マルチメディアと心理学(聴覚)	2	2・3・4	人間科学科(コ)	
マルチメディアと心理学(視覚)	2	2・3・4	人間科学科(コ)	

## ○イスラムとその周辺

グローバル化の進展の中で、異質な他者と触れ合う機会がますます増えてきている。イスラム文明との出会い・接触はその一例であろう。イスラム文明はグローバル社会の中で大きな位置を占めているにもかかわらず、これまで日本人にとってはなじみの薄いものであり続けてきた。ここでは、多様な広がりをもつイスラム文明およびその周辺テーマに、歴史・宗教・文化等のさまざまな角度から光を当て、基本的な知識を身につけることをめざす。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
宗教学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
キリスト教学ⅡH(キリスト教と現代の宗教事情)	2	2・3・4	キリスト教学科目	
東洋史概説Ⅱ	2	1・2	人文学科(史)	
アジア史	2	2・3・4	人文学科(史)	
東洋史特論(アジア)B	2	2・3・4	人文学科(史)	シラバスで授業内容を確認すること 隔年開講
南アジア文化特論	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
イスラム文化特論	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
周縁世界とグローバル化	2	3・4	国際社会学科(国)	
現代文化の動態	2	3・4	国際社会学科(国)	

## ○異文化コミュニケーションと翻訳

人間は、一人ひとりが、異なる文化をもっている。個々の文化の違いは人間の多様性を示す豊かさである反面、摩擦や衝突の原因にもなる。自分にとってのあたりまえは、属する文化や社会が異なれば、いっそうあたりまえではなくなる。一方思いがけない共通性もある。そのような多種多様な異文化を背景に持つ人間同士の言語によるコミュニケーションの諸相を「翻訳」という視点から考えてみる。さらに、「翻訳」に見られるズレの諸相から、言語や文化の違いを具体的に捉えるだけでなく、文化比較のおもしろさも知る。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
Translation A	1	2・3・4	外国語科目	
Translation B	1	2・3・4	外国語科目	
異文化理解 I	2	2・3・4	人文学科(英)	
異文化理解 II	2	2・3・4	人文学科(英)	
比較文化論	2	1・2	国際社会学科(国)	
文化心理学(文化と自己)	2	2・3・4	人間科学科(コ)	
異文化コミュニケーション	2	2・3・4	人間科学科(コ)	
翻訳研究 I	2	2・3	人間科学科(言)	
翻訳研究 II	2	2・3	人間科学科(言)	

## ○地域・都市とグローバル化

今日、地域や都市といったものを学ぶにあたって、グローバル化との関連を欠かすことはできない。社会学、文化研究、経済学などさまざまな観点から、地域や都市を読み解くにあたって必要となるツールを提供する。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
社会学と現代社会	2	1・2・3・4	総合教養科目	
比較文化論	2	1・2	国際社会学科(国)	
統計学	2	1・2	国際社会学科(経)	
財政学	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
都市・地域経済学	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
日本経済論	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
都市社会学	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
地域社会学	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
現代社会論 A	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
現代社会論 B	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講

## ○多文化の共生と交流

世界を一つのものとするグローバリゼーションが進む一方で、各国、各地域の個性を大切にすることをローカリゼーションの重要性も指摘されている。本科目群では、国を越えたより広い地域を対象にして、そうした世界の地域の多くの文化がいかに交流し、共生していくことができるのかに迫る。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
世界の地域と民族	2	1・2・3・4	総合教養科目	
ヨーロッパの歴史と文化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
ラテンアメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
英語文学(小説)A I	2	3・4	人文学科(英)	
東南アジア文化論	2	1・2	国際社会学科(国)	
南アジア文化特論	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
イスラム文化特論	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
社会人類学特論A	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
社会人類学特論B	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
宗教人類学	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
東アジアの文化と社会	2	3・4	国際社会学科(国)	
異文化コミュニケーション	2	2・3・4	人間科学科(コ)	

## ○日本の文化財を学ぶ

日本の文化財を知り、それを創り上げた先人の英知を学ぶことは、今日を生きる人間に大切なことである。文化財を伝承することは、そこから新しいものを創造する智慧を学ぶことにもなる。「博物館、文化、芸術、歴史」等の日本の文化財を各分野から学び、その特質を知って今後の自己の確立の一助としたい。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
日本宗教史	2	1・2・3・4	総合教養科目	
日本の文学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
日本文化史	2	1・2・3・4	総合教養科目	
民俗学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
日本文学概論(古典)AI	2	1・2・3	人文学科(日)	隔年開講
日本文学概論(古典)AII	2	1・2・3	人文学科(日)	隔年開講
日本文学概論(古典)BI	2	1・2・3	人文学科(日)	隔年開講
日本文学概論(古典)BII	2	1・2・3	人文学科(日)	隔年開講
中国文学概論 I	2	1・2・3	人文学科(日)	
中国文学概論 II	2	1・2・3	人文学科(日)	
美術史(日本)	2	2・3・4	人文学科(史)	隔年開講
歴史民俗調査 A	2	2・3	人文学科(史)	隔年開講
歴史民俗調査 B	2	2・3	人文学科(史)	隔年開講

## ○人道と人権

第二次世界大戦後に世界人権宣言が発せられたように、「人権」は今日の国際社会における基本課題である。基本的人権の尊重は、もちろん日本国憲法上の大原則でもある。さらに赤十字や国連難民高等弁務官に象徴されるように、人道援助が必要な事態が国際社会には頻繁に起こっている。そうした人道と人権をめぐる諸問題を学ぶための科目群である。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
国際社会と女性の人権	2	1・2・3・4	総合教養科目	
国際社会と人権	2	1・2・3・4	総合教養科目	
西洋史特論(近現代)A	2	2・3・4	人文学科(史)	シラバスで授業内容を確認すること 隔年開講
西洋史特論(近現代)B	2	2・3・4	人文学科(史)	シラバスで授業内容を確認すること 隔年開講
人権・人道の人類学	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
国際関係法A	2	2・3・4	国際社会学科(国)	
労働法	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講

## ○イギリスの歴史と文化

イギリスの歴史と文化は、言語・社会制度・習俗など、さまざまな面で、日本に大きな影響を与えてきた。今でも、イギリスの古い建物・景観や文学作品に憧れ愛好する人は少なくない。なぜ、どのような点で、私たちは憧れや愛着を感じるのか。何を学べるのか。こうした問題意識をもちながら、イギリスの歴史と文化のさまざまな側面を横断的に学び、その全体像を多角的に捉える。さらに、日本との異同についても考える手がかりを得ることも可能になる。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
ヨーロッパの歴史と文化	2	1・2・3・4	総合教養科目	シラバスで授業内容を確認すること
英語文学・文化基礎論A I	2	2	人文学科(英)	
英語文学・文化基礎論A II	2	2	人文学科(英)	
英語史 I	2	3・4	人文学科(英)	隔年開講
英文学史 I	2	3・4	人文学科(英)	
英文学史 II	2	3・4	人文学科(英)	
イギリス史	2	2・3・4	人文学科(史)	
翻訳研究 I	2	2・3	人間科学科(言)	
翻訳研究 II	2	2・3	人間科学科(言)	
文学とことば	2	2・3	人間科学科(言)	

## ○人種と民族

世界にはさまざまな人種や民族が存在している。人種や民族の違いが紛争の原因となるという人もいるがはたしてそうだろうか。さまざまな人種や民族の特徴を学ぶことで共通点・相違点を理解し、共存していく術を学ぶ。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
世界の地域と民族	2	1・2・3・4	総合教養科目	
現代中国論	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
現代アメリカ社会論	2	2・3・4	国際社会学科(国)	
ラテンアメリカ研究Ⅱ	2	3・4	国際社会学科(国)	
社会人類学特論A	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
社会人類学特論B	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
人種・民族・国民	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
エスニシティー論	2	3・4	国際社会学科(国)	
周縁世界とグローバル化	2	3・4	国際社会学科(国)	
現代文化の動態	2	3・4	国際社会学科(国)	
国際社会学A	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
国際社会学B	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講
労働社会学Ⅱ	2	2・3・4	国際社会学科(社)	隔年開講

## ○メディアと政治

現代社会と政治との関係、政治学の基本的概念を踏まえ、政治コミュニケーションが有権者の政治意識や政治参加に及ぼす影響について理解を深める。具体的には、メディア報道が争点認知や現実認識、世論形成に及ぼす影響、候補者や政治家の政治広告・選挙キャンペーン戦略とその効果などについて学ぶ。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
国際社会と日本	2	1・2・3・4	総合教養科目	
政治学概論	2	1・2	国際社会学科(国)	
メディア心理学	2	2・3・4	人間科学科(コ)	
メディア社会論	2	2・3・4	人間科学科(コ)	
ジャーナリズム論	2	2・3・4	人間科学科(コ)	隔年開講

## ○日中韓3国の近現代理解

日本、中国、韓国の3カ国は古代より密接な関連をもって今日に至っている。21世紀には東アジアが世界で果たすべき役割がさらに大きくなるものと期待される一方、3国の領有権を巡る問題などの新たな課題も浮上している。このモデルでは日本史、中国史、朝鮮史を軸にしつつ、3国を巡る国際関係および言語、文化、文学、思想など幅広く学ぶことにより、新たな課題にも対処しつつ、東アジアを多角的に理解できるよう組み立てられている。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
比較思想	2	1・2・3・4	総合教養科目	
アジアの歴史と文化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
中国語(読解)A	1	2・3・4	外国語科目	
中国語(読解)B	1	2・3・4	外国語科目	
中国語(作文と文法)	1	2・3・4	外国語科目	
中国語(会話)	1	2・3・4	外国語科目	
韓国語(読解)A	1	2・3・4	外国語科目	
韓国語(読解)B	1	2・3・4	外国語科目	
韓国語(作文と文法)	1	2・3・4	外国語科目	
韓国語(会話)	1	2・3・4	外国語科目	
中国文学A I	2	2・3・4	人文学科(日)	隔年開講
中国文学B I	2	2・3・4	人文学科(日)	隔年開講
日本史概説Ⅱ	2	1・2	人文学科(史)	
東洋史概説Ⅰ	2	1・2	人文学科(史)	
日本史特論(近現代)A	2	2・3・4	人文学科(史)	隔年開講
東洋史概論	2	1・2	国際社会学科(国)	
朝鮮近現代史Ⅰ	2	2・3	国際社会学科(国)	
朝鮮近現代史Ⅱ	2	2・3	国際社会学科(国)	
国際関係(日朝)	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
アジア国際関係論Ⅰ	2	3・4	国際社会学科(国)	
アジア国際関係論Ⅱ	2	3・4	国際社会学科(国)	

## ○消費と社会

社会における消費のメカニズム、消費者行動の理論、消費者行動に影響する要因などについて理解を深める。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
こころの科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
日本の産業と企業	2	1・2・3・4	総合教養科目	
ミクロ経済学入門	2	1	国際社会学科(経)	
初級ミクロ経済学	2	1	国際社会学科(経)	
マーケティングⅠ	2	2・3・4	国際社会学科(経)	
マーケティングⅡ	2	2・3・4	国際社会学科(経)	
メディア心理学	2	2・3・4	人間科学科(コ)	
広告コミュニケーション論	2	2・3・4	人間科学科(コ)	

## ○環境を守る経済開発システム

市場価値・利益追求型ではない経済発展、経済発展と環境破壊、人間の幸福と経済、途上国の経済状況と紛争との関係、グローバル・エコノミーの弊害と文化の多様性などの問題を学ぶ。次世代に地球環境を保全して渡すことを考えると同時に、どうすれば今生きている私たちが生活環境をよくすることができるかを考える。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
地球環境の科学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
自然環境と人間社会	2	1・2・3・4	総合教養科目	
平和学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
国際金融と貿易	2	1・2・3・4	総合教養科目	
ミクロ経済学入門	2	1	国際社会学科(経)	
マクロ経済学入門	2	1	国際社会学科(経)	
初級ミクロ経済学	2	1	国際社会学科(経)	
初級マクロ経済学	2	1	国際社会学科(経)	
環境経済学	2	2・3・4	国際社会学科(経)	

## ○ことば探検:日本語

日ごろ何気なく使っている日本語を、一つの言語として、日本社会の言語生活にあらわれる多様な姿として、また、日本人の文化的発想や行動パターンを垣間見る窓として、あらためてとらえ直し、ことばやコミュニケーションへの関心と洞察力を深める。同時に、より効果的に日本語を使いこなすためのスキルも習得する。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
ことばの世界	2	1・2・3・4	総合教養科目	
日本語表現法 I	2	1・2 限定	日本語科目	
日本語学概論 I	2	1・2・3	人文学科(日)	
日本語学概論 II	2	1・2・3	人文学科(日)	
言語情報処理 I	2	2・3・4	人文学科(日)	
言語情報処理 II	2	2・3・4	人文学科(日)	
社会言語学特論 A	2	2・3・4	国際社会学科(国)	
社会言語学特論 B	2	2・3・4	国際社会学科(国)	
文字表記論	2	1・2	人間科学科(言)	
社会言語学	2	2・3	人間科学科(言)	
言語文化論	2	2・3	人間科学科(言)	



## ○アメリカ文化

21世紀の世界でも大きな影響力をもっているアメリカ合衆国の文学、歴史、政治、経済などを総合的に学ぶ学際的な履修モデルである。アメリカ合衆国への語学研修や留学の準備となりうる科目群である。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
アメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
キリスト教学I(入門 I)	2	1	キリスト教学科目	
キリスト教学I(入門 II)	2	1	キリスト教学科目	
英語文学・文化基礎論 BI	2	2	人文学科(英)	
英語文学・文化基礎論 BII	2	2	人文学科(英)	
米文学史 I	2	3・4	人文学科(英)	
米文学史 II	2	3・4	人文学科(英)	
英語文学(演劇)BI	2	3・4	人文学科(英)	隔年開講
アメリカ文化論	2	1・2	国際社会学科(国)	
アメリカ史 I	2	2・3	国際社会学科(国)	
アメリカ史 II	2	2・3	国際社会学科(国)	
現代アメリカ社会論	2	2・3・4	国際社会学科(国)	
アメリカ研究(社会史)I	2	3・4	国際社会学科(国)	
アメリカ研究(社会史)II	2	3・4	国際社会学科(国)	
日米比較文化 I	2	3・4	国際社会学科(国)	
日米比較文化 II	2	3・4	国際社会学科(国)	
現代アメリカ政治論	2	2・3・4	国際社会学科(国)	
アメリカ研究(政治・外交)I	2	3・4	国際社会学科(国)	
アメリカ研究(政治・外交)II	2	3・4	国際社会学科(国)	
アメリカ経済論	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講

## ○経済学検定(ERE)対策

経済学検定(ERE)対策として、経済学の諸科目を学ぶ。ERE は、①ミクロ経済学、②マクロ経済学、③財政学、④金融論、⑤国際経済、⑥統計学の6分野から総合的に経済学の実力を判定する試験で、年2回実施される。就職採用において、企業担当者からも注目を集めており、就職エントリーシートに ERE の成績を明示し、自己アピールの手段として利用する学生も増えている。また、経済学系大学院では、あるスコア以上であると、試験科目を免除するところも増えている。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
ミクロ経済学入門	2	1	国際社会学科(経)	
マクロ経済学入門	2	1	国際社会学科(経)	
初級ミクロ経済学	2	1	国際社会学科(経)	
初級マクロ経済学	2	1	国際社会学科(経)	
中級ミクロ経済学	2	2	国際社会学科(経)	
中級マクロ経済学	2	2	国際社会学科(経)	
公共経済学	2	2	国際社会学科(経)	
経済政策	2	2	国際社会学科(経)	
経済数学	2	1・2	国際社会学科(経)	
統計学	2	1・2	国際社会学科(経)	
国際経済学 I	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
計量経済学 I	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
金融論	2	2・3・4	国際社会学科(経)	
財政学	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講

## ○公務員試験 経済学科目対策

公務員試験(国家一般・地方上級・国税専門官・外務専門・裁判所事務官・労働基準監督官・警察・消防等)において、経済・法律・政治科目の配点は高い。公務員試験の経済学科目対策として、経済学の諸科目を学ぶ。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
ミクロ経済学入門	2	1	国際社会学科(経)	
マクロ経済学入門	2	1	国際社会学科(経)	
初級ミクロ経済学	2	1	国際社会学科(経)	
初級マクロ経済学	2	1	国際社会学科(経)	
中級ミクロ経済学	2	2	国際社会学科(経)	
中級マクロ経済学	2	2	国際社会学科(経)	
公共経済学	2	2	国際社会学科(経)	
経済政策	2	2	国際社会学科(経)	
経済数学	2	1・2	国際社会学科(経)	
金融論	2	2・3・4	国際社会学科(経)	
財政学	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
経営学概論Ⅰ	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
経営学概論Ⅱ	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講
簿記論	2	2・3・4	国際社会学科(経)	隔年開講

## ○英語圏への留学準備

英語圏に留学するために必要な英語力、文化的な知識などを身につけることを目指す。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
ヨーロッパの歴史と文化	2	1・2・3・4	総合教養科目	シラバスで授業内容を確認すること
アメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
ラテンアメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
アジアの歴史と文化	2	1・2・3・4	総合教養科目	
Critical Reading and Discussion A	1	2・3・4	外国語科目	
Critical Reading and Discussion B	1	2・3・4	外国語科目	
Listening and Presentation A	1	2・3・4	外国語科目	
Listening and Presentation B	1	2・3・4	外国語科目	
Academic Writing A	1	2・3・4	外国語科目	
Academic Writing B	1	2・3・4	外国語科目	
Speaking Skills A	1	2・3・4	外国語科目	
Speaking Skills B	1	2・3・4	外国語科目	
Journalistic English A	1	2・3・4	外国語科目	
Journalistic English B	1	2・3・4	外国語科目	
TOEFL 講座	1	2・3・4	外国語科目	
英語特別プログラム	2	2・3・4	挑戦する知性科目	

## ○戦争と平和

「戦争と平和の法」が国際法の始まりであったように、国際関係の主要課題は、「戦争と平和」をめぐる諸問題である。人類は平和を希求しながらも、何故戦争・武力行使に訴え、平和を破るのであろうか。そうした難問に迫る科目群である。

授業科目名	単位数	履修年次	科目配置学科等	備考
平和学	2	1・2・3・4	総合教養科目	
国際関係論Ⅰ	2	1・2	国際社会学科(国)	
国際関係論Ⅱ	2	1・2	国際社会学科(国)	
日米比較文化Ⅰ	2	3・4	国際社会学科(国)	
政治人類学	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
国際関係(日米)	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
国際関係(日中)	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
国際関係(日朝)	2	2・3・4	国際社会学科(国)	隔年開講
アジア国際関係論Ⅰ	2	3・4	国際社会学科(国)	
アメリカ研究(政治・外交)Ⅰ	2	3・4	国際社会学科(国)	
アメリカ研究(政治・外交)Ⅱ	2	3・4	国際社会学科(国)	

学生への通知・連絡は、掲示・CampusSquare 等によって行います。

\* 掲示・CampusSquare の内容は、関係ある学生全員に周知されたものとみなします。これらを見ることを怠ったことによる不利益は、自己責任となります。十分に注意してください。

### 学務課への問い合わせ

原則として、問い合わせは学務課窓口で行ってください。  
期限後の手続きは受け付けません。病気等やむを得ない理由により手続きを行えない場合は、必ず事前に学務課に電話等により連絡し、指示を受けてください。手続きを怠ったことによる不利益は、自己責任となります。十分に注意してください。

### 履修および成績評価に関する個人情報の取扱い

履修登録（含む登録訂正）手続きにより本学が知り得た個人情報ならびに履修登録後の授業の履修、単位認定（試験）および成績評価に関する個人情報は、次の業務に限り使用します。

履修、単位認定（試験）、成績評価、進級判定、卒業判定および証明書発行等のための学籍管理

#### ◆成績等の保証人への通知

本学では、成績は学生自身が自己管理すべきものであること、また学生個人のプライバシーを尊重する立場から、成績表を学生本人に送付（保証人住所に郵送）することで通知しています。ただし、履修の手引「IV. 成績 4. 成績・GPAの通知」に掲載の「保証人への通知の要件(1)(2)(3)」に該当する場合は、成績および通知の要件に該当する事実とその理由を保証人に通知します。

- ◆ 東京女子大学学則
- ◆ 東京女子大学休学、復学、退学、再入学に関する規程
- ◆ 東京女子大学学費その他納入規程

上記については、『学生要覧』を参照してください。

本冊子の掲載内容について、遠隔授業実施時是对応が異なる場合があります。最新のお知らせは本学公式サイトや CampusSquare にて案内しますので、あわせてご確認ください。